

JENESYS2025 日本・ミャンマー日本語・日本文化交流（オンライン）の記録

1. プログラム概要

【目的・概要】

本プログラムは、日本の大学生 8 名とミャンマーの大学生等 60 名が両国の相互理解と友好促進を図ることを主目的として 11 月 18 日～11 月 25 日の間、オンラインにて実施しました。双方の参加者がそれぞれの国の魅力を紹介し、また自宅を案内し合うバーチャルホームツアーを行い、相互理解を深めると共に、参加者同士のネットワークづくりや両国の魅力の対外発信を推進することができました。

【参加者】日本の大学生 8 名、ミャンマーの大学生等 60 名 合計 68 名

【訪問地】 東京都、福岡県、ミャンマー 各 68 名

【日程】

■ プレプログラム（事前学習 日本人大学生対象）:

10月8日（火曜日） 【オリエンテーション】初回オリエンテーション

【講義】 ミャンマー理解講義「ミャンマーを知ろう！」

講師：在ミャンマー日本国大使館 一等書記官 加藤 岳 氏、

在ミャンマー－日本国大使館 三等書記官 永田 理紗 氏

10月14日（水曜日） 【交流】JENESYS2025 日本・ミャンマー日本語・日本文化交流（招へいプログラム）・JENESYS2025 日本・フィリピン日本語・日本文化交流（招へいプログラム）で訪日中の参加者との対面交流

■ オンライン交流プログラム：

11月18日（火曜日） 【オリエンテーション】プログラム内容紹介、自己紹介等

【バーチャルホームツアー】自宅紹介（日本人大学生・ミャンマー人学生等）

11月19日(水曜日) 【学生交流①】

・日本人大学生からの日本の魅力紹介プレゼンテーション

・質疑応答

・ミャンマー人学生等からのミャンマーの魅力紹介プレゼンテーション

· 質疑応答

・グループ交流 等

11月20日(木曜日) 【学生交流②】

・日本人大学生からの日本の魅力紹介プレゼンテーション・実演

・質疑応答

・ミャンマー人学生等からのミャンマーの魅力紹介プレゼンテーション・実演

· 質疑応答

・グループ交流 等

11月21日（金曜日）～11月24日（月曜日）の間に各グループで実施

【ワークショップ】 報告会準備（プログラム成果のとりまとめ、プログラム後の活動計画（アクション・プラン）の作成）

11月25日（火曜日）

【報告会】

プログラム成果・プログラム後の活動計画（アクション・プラン）発表

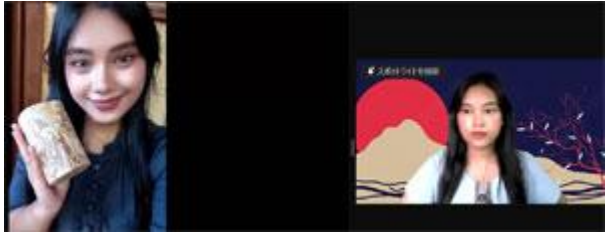
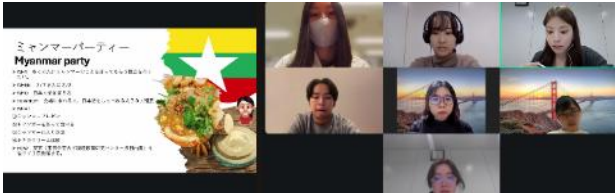
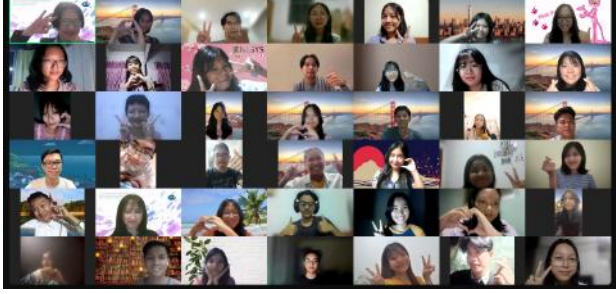
2. 記録写真

プレプログラム（事前学習 日本人大学生対象）

	
10月8日【講義】 ミャンマー理解講義「ミャンマーを知ろう！」	10月14日【交流】JENESYS2025 招へいプログラム参加者との対面交流

オンライン交流プログラム

	
11月18日【バーチャルホームツアー】 （日本）	11月18日【バーチャルホームツアー】 （ミャンマー）
	
11月19日【学生交流①】日本の魅力紹介プレゼンテーション	11月19日【学生交流①】ミャンマーの魅力紹介プレゼンテーション

	
11月20日【学生交流②】 日本の魅力紹介プレゼンテーション・実演	11月20日【学生交流②】 ミャンマーの魅力紹介プレゼンテーション・実演
	
11月25日【報告会】日本グループ	11月25日【報告会】ミャンマー グループ1
	
11月25日【報告会】ミャンマー グループ2	11月25日【報告会】ミャンマー グループ3
	
11月25日【報告会】ミャンマー グループ4	11月25日【報告会】集合写真

3. 参加者から寄せられた質問・関心事項（抜粋）

◆ ホームビジットについて

- ・ 日本では、仏壇を家の奥まった所に置きますが、ミャンマーの自宅では、玄関付近に仏壇があったので驚きました。（日本）
- ・ 玄関に靴がきれいに並べられていましたが、これは日本の習慣ですか？（ミャンマー）
- ・ 畳の部屋がありましたが、畳の良さを教えてください（ミャンマー）

◆ 学生交流①について

- ・ ミャンマーでは伝統衣装を今も着ていますか？（日本）
- ・ 自宅に飾っている操り人形は実際に演劇などに使えますか？（日本）

◆ 学生交流②について

- ・ ミャンマーの若者は音楽をどういうツールを使って聞いていますか？（日本）
- ・ タナカは老若男女塗っていますか？塗るのは顔だけですか？（日本）
- ・ 抹茶は何種類ありますか？（ミャンマー）
- ・ 茶筌はなぜ竹で作られているのですか？（ミャンマー）
- ・ どら焼きなどに使うあんは、なんの豆から作られていますか？（ミャンマー）

4. 参加者の感想（抜粋）

◆ 日本 大学生

プログラム中、ミャンマーの方たちが日本の文化に興味を持ってくれたことを実感できました。3日間のオンライン交流でお互いの文化を紹介し合い、ミャンマーへの理解が深まっただけではなく、自分自身が日本文化について表面上しか理解がなかったことに気づくことができました。

報告会では、お互いの文化の相違点と類似点を発表しましたが、そこで私が地元の紹介をした際に取り上げたことをミャンマーの文化と比較してくれていました。もちろん比較をするという発表内容ではあったものの、私が発表したことを取り上げてくれたことがすごく嬉しかったです。私にとって今回得た満足感と嬉しさは今後の文化交流を期待するものにしてくれました。オンラインプログラムは終了しましたが、アクション・プランを通してもっとお互いの文化交流を今後も楽しみたいと思っています。

◆ 日本 大学生

オンラインでの実施でしたが、来日しているミャンマーの学生たちと交流できたことや、実際の生の声を聞くことができ、情報だけで得た知識よりも生の気づきが得られたことがとても良かったです。特に、ミャンマーの方々の、フレンドリーで明るく優しい人柄に気づくことができました。日本の食文化として和菓子や茶道について紹介した際は、お茶の種類やお茶の点て方など、細かなところまで関心を持って質問をしてくれて嬉しかったです。

◆ ミャンマー 大学生

本プログラムはオンラインでの実施でしたが、日本の景色、文化、日常生活を、実際にその場で体験している様に感じることができました。日本人の親切さ、敬意、清潔感、完璧度、仕事の正確性など多くを学びました。地域による多様性、食べ物の違いなどもわかりました。日本の食文化から、日本人の価値観や日常生活の背景を読み解くことができました。

◆ ミャンマー 大学生

大変貴重な経験を得られました。お互いに日本・ミャンマー文化を楽しく共有し、多様性と親切さを学べました。

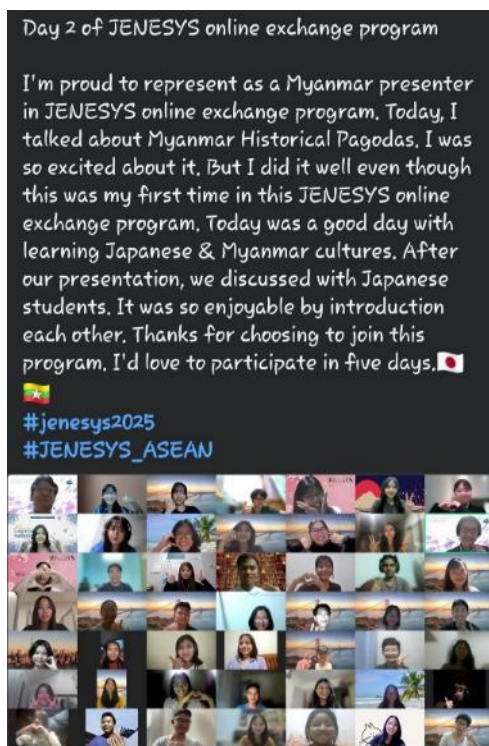
オリエンテーションでは、日本の時間厳守、規則正しさ、チームワークでの協力などについて理解を深めました。バーチャルホームツアーや文化交流プログラムでは、日本人の規則正しい生活、時間の正確さ、その理由を含め、学ぶことができました。グループディスカッションでは、チームワーク、リーダーシップ、コミュニケーションスキルが上達しました。基礎的な日本語も学ぶことができました。特に日本の魅力紹介の中で、日本の食べ物、ゲーム、文化などを楽しく学べたのは、本プログラムの最も貴重な経験でした。色褪せない記憶と新しい知識は最高の宝物です。

◆ ミャンマー 大学生

日本とミャンマーの文化が似ていることをとても気に入っています。プログラムから日本の文化、食べ物、著名な建造物などを学ぶことができました。将来、日本に留学したいと考えている私にとって、本プログラムから大切なことを学べました。

6. 参加者の対外発信（抜粋）

	
2025 年 10 月 9 日（Instagram） 日本 大学生 昨日は、ミャンマー交流プロジェクト、第 1 回「ミャンマーを知ろう！」講座に参加しました。 敗戦後、日本の食糧難を救ってくれたミャンマーのビルマ米。その恩返しのように、日本はミャンマーに橋や地震への支援を続けているそう。これからも支え合う関係が続きますように！	2025 年 11 月 25 日（Instagram） 日本 大学生 ミャンマーの皆さんと共に、オンラインプログラムに参加できてとても嬉しく思います。ミャンマーの文化や生活について多くを学びました。特にタナカに興味があり、もしミャンマーを訪れることがあれば、ぜひ試してみたいです。 また、ミャンマーの皆さんが日本文化に興味を持ってくれていることを知って嬉しかったです。プログラムは終了しましたが、この経験を決して忘れません。



2025 年 11 月 19 日 (Instagram)

ミャンマー 大学生

JENESYS オンライン交流プログラムで、ミャンマー代表として発表できることを誇りに思います。今日は、ミャンマーの歴史的なパゴダについて話しました。本当に楽しみにしていました。初めての参加でしたが、うまくできたと思います。今日は、日本とミャンマーの文化を学ぶ良い一日でした。発表の後、日本の学生とディスカッションしました。お互いを紹介し合う時間はとても楽しかったです。このプログラムに参加する機会をいただき、ありがとうございます。5 日間参加できることを楽しみにしています。



2025 年 11 月 30 日 (Instagram)

ミャンマー 大学生

このオンラインプログラムに参加できて本当に楽しかったです。短期間で対面ではありませんでしたが、日本の食べ物、デザート、文化、そしてライフスタイルについてより深く理解することができました。さらに、日本人とミャンマー人の新しい友達ができ、ブレイクアウトルームのセッションやワークショップを一緒に行うことで、より親しくなれました。各グループが今後 3 か月間の行動計画を発表する時間が私にとって最も有意義でした。この取り組みが私たちのスキルと知識の向上につながると確信しています。

7. 報告会でのプログラム成果とアクション・プラン発表（抜粋）

訪問地：東京都、福岡県、ミャンマー 全5グループ発表

日本人大学生グループ



【成果の発表】

◆ プログラム中の気づき

①日本の魅力：

日本のお茶・抹茶は種類が多く、茶葉や点て方で呼び名が変わります。日本の歴史や地域文化（炭鉱、城下町、祭りなど）は、ミャンマーの若者から特に関心を集めました。

②ミャンマーの魅力：

黄金のパゴダを象徴とする仏教文化やタナカなど、豊かで独自の伝統文化があります。多民族が共存し、人々の温かさと優しさが大きな魅力となっています。

③日本とミャンマーの相違点と類似点

相違点：ミャンマーは大家族・助け合いの文化が強く、日本は核家族で個人の生活を重視する傾向にあります。食文化も異なり、ミャンマーは、油を使う料理が多く、手食文化が残るのに対し、日本は出汁・発酵文化が特徴で箸を使用しています。

類似点：礼儀を大切にし、仏教に影響を受けているのは両国共有しています。祭り・民族衣装など伝統文化を守り続け、玄関で靴を脱ぐ習慣も共通しています。

【アクション・プラン】

「Instagram での情報発信、ミャンマーパーティーの開催」

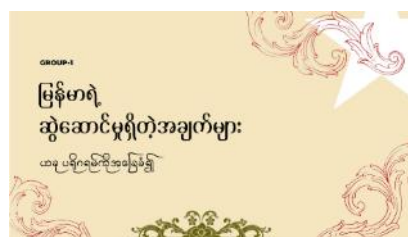
①Instagram での情報発信：

若い世代に異文化への関心を広げるため、Instagramで8か月間、月2回・計16回のさまざまな国を紹介する投稿を行います。日本人メンバー8名がそれぞれ1か月を担当し、1回目は国の位置や物価、国旗など基本情報を、2回目は各自がテーマを選び、見た人にその国へ行ってみたいと思ってもらえるような内容を発信します。

②ミャンマーパーティーの開催：

2月7日または8日に、日本人や日本語を話す留学生など約30名を対象とした「ミャンマーパーティー」を開催します。当日はミャンマーの位置や国旗、食文化を紹介した後、国民食モヒンガーを作って試食します。さらに、オンラインで現地の方と交流し、質疑応答も行います。タナカの木が手に入れば、伝統のタナカクリーム体験も予定しています。

ミャンマー人学生等グループ 1



【成果の発表】

◆ プログラム中の気づき

①日本の魅力：

日本の食べ物は魅力的で、季節に応じて変わる景色や文化遺産が、日本の歴史を感じさせます。丁寧な挨拶には相手への敬意を示す文化があります。

②ミャンマーの魅力：

ミャンマーの踊りは美しく、タナカは日焼け止めとしても使われる伝統の化粧です。黄金に輝く仏塔は国を象徴する歴史的遺産です。

③日本とミャンマーの相違点と類似点：

相違点：日本は四季があり、電車が主な交通手段、学生のアパートも一般的です。ミャンマーは夏、雨季、冬という三つの季節があり、バス利用が多く、アパートはほとんどしません。

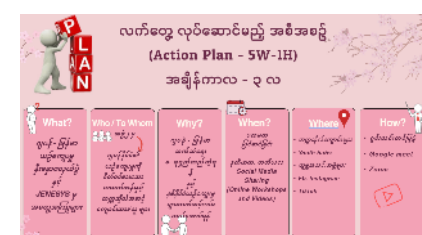
類似点：日本にもミャンマーにも世界遺産の建造物が多く存在しています。日本もミャンマーもお茶を色々な形でよく消費します。

【アクション・プラン】

「JENESYS プログラム及び日本の文化についての講演会」

グループのメンバー12名で、JENESYS プログラム及び日本文化の理解を深めるため、また、ミャンマーの若者たちの将来性を広げるため、ミャンマーの若者を対象に、毎月回（第3週目に）Zoomを用いたオンライン形式で、JENESYSの説明及び同窓生による経験の共有、日本文化、日本留学情報（奨学金を含む）、質疑応答の講演会を開催します。

ミャンマー人学生等グループ 2



【成果の発表】

◆ プログラム中の気づき

①日本の魅力：

日本では四季の変化を楽しめ、各地に有名な山々があります。

②ミャンマーの魅力：

温暖な気候と肥えた土地で農業が盛んで、多民族社会ゆえ多様な文化が共存しています。

③日本とミャンマーの相違点と類似点：

相違点：海に囲まれた日本は漁業が盛んで、ミャンマーの漁業は一部地域のみで見られます。食文化も異なり、ミャンマーは日常的にモヒンガーという素麺のような食べ物を食べます。

類似点：日本にもミャンマーにも地域による方言があり、お米を主食としています。日本のみたらし団子はミャンマーのもち米菓子と似ています。

【アクション・プラン】

「JENESYS プログラム及び日本の文化の共有」

日本とミャンマーの友好と理解を深めるため、日本の景勝地や住宅事情、伝統菓子、今回のオンライン交流の体験談などを日本文化に関心のあるミャンマーの高校生・大学生に共有します。

本プログラム終了後1か月間は詳細計画を策定し、情報動画を作成。2～3か月後にZoom等でオンラインワークショップを開催。Facebook や TikTok でも発信し、大学や組織を通じて広く周知します。興味を持った参加者には今後の JENESYS 参加も促します。

ミャンマー人学生等グループ3



【成果の発表】

◆ プログラム中の気づき

①日本の魅力：

どら焼きや抹茶餅、お雑煮など日本の食文化は魅力的です。

なまはげ館では衣装体験や伝統を学ぶことができ、迫力あるお面が特徴です。

岐阜県高山市では、高山祭という神々を奉り、季節の節目を祝う伝統的なお祭りが春と秋に開催されます。

②ミャンマーの魅力：

お茶の葉っぱの和え物とモヒンガーは代表的なミャンマー料理です。ヤンゴンにあるシュエダゴン・パゴダは国内で最も有名な仏塔で、祭日には多くの参拝者が訪れます。4月の水かけ祭りは新年を祝う行事で、新年会や伝統的なイベントなどに披露するカレン族の踊りは伝統文化を現代まで保全してきた一つの好例です。

③日本とミャンマーの相違点と類似点

相違点：ミャンマーは日本より降水量が多いです。ミャンマーの山の上以外は雪が降りません。日本の大学生の多くは一人暮らしをし、アルバイトをしますが、ミャンマーの大学生の多くは実家暮らしです。アルバイトもほとんどなく、したくてもできません。

類似点：日本とミャンマーのお菓子の多くはもち米で作られています。お客様にお茶でおもてなしします。日本もミャンマーもお正月を迎える時に、古い年の汚れを落とす習慣は似ていると思います。

【アクション・プラン】

「Two Nations, One Taste : 甘いものを通じての日本・ミャンマー文化共有」

日本とミャンマーの文化や食に関心のある若者を対象に、両国のスイーツを Instagram で紹介します。

①文化理解、②両国スイーツの紹介、③甘い食文化を通じた交流の促進を目的としています。

1 週目に代表的スイーツを紹介し、2～3 週目に各 4 種類を動画で配信。4 週目に類似点・相違点をまとめ、意見も募集します。JENESYS 参加も促し、広く発信します。

ミャンマー人学生等グループ 4



【成果の発表】

◆ プログラム中の気づき

本プログラム中に気づいた日本とミャンマーの魅力 5 つを、類似点、相違点を中心に比較報告します。

①お雑煮とお茶の葉っぱの和え物

類似点：どちらも伝統文化に根づき、国の価値観を表す料理です。

相違点：お雑煮は新年に食べるスープ料理で、内容も固定されています。一方、お茶の葉の和え物はスープではなく、年間を通して食べられます。

②着物とミャンマーの伝統衣装

類似点：伝統文化の特徴を代表しています。特別な時期、お祭り、イベントなどに着ます。

相違点：ミャンマーの伝統衣装は毎日でも着ることができます。着物は特別な機会に着るのが主で、模様は自然景色を題材にしています。

③中尊寺とシュエダゴン・パゴダ

類似点：伝統文化や歴史と関連している著名な建造物です。国のシンボルと価値観を表しています。

相違点：シュエダゴン・パゴダ（仏塔）は金色で賑やかな場所にあり、中尊寺は木造で森に囲まれた静かな環境にあります。

④高山祭と燈明祭

類似点：綺麗な提灯飾りが使われ、伝統衣装を纏い、一家団らんで祭りを楽しみながら、文化と歴史を受け継いでいます。

相違点：ミャンマーの燈明祭は仏陀を迎える年 1 回の祭りで参拝が中心です。高山祭は年 2 回開催され、神輿が街を巡ります。

⑤郡上おどりとミャンマーの伝統的な踊り

類似点：両国ともに伝統衣装や踊りなどが、国の文化遺産として大切にされています。

相違点：音楽と動きが違い、郡上おどりは年に一度だけ夜を徹して踊りますが、ミャンマーの伝統的な踊りは年間を通してさまざまな祭りやイベントで踊られています。

【アクション・プラン】

「日本の伝統文化・食べ物と JENESYS プログラム経験の共有」

日本文化に関心のあるミャンマーの若者向けにオンラインセミナーを実施します。茶道（抹茶）の実演や、たこ焼き・どら焼き・関東風お雑煮の紹介し、日本の伝統文化や食べ物に親しんでもらうとともに、今回の JENESYS プログラムで得た学びを共有します。

実施団体：一般財団法人日本国際協力センター（JICE）